

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 134 別冊

日本教育情報学会 第26回年会ご案内（最終版）

●8月21日(土) [第1日目] じゅうろくプラザ

9:30	受付開始			2F ホール前
10:00~12:00	セクシ ョン 1	課題研究 1-1	デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題(1)	5F 中会議室 1
		課題研究 2	ICT を活用した教育支援環境	5F 中会議室 2
		課題研究 3-1	教育資料・実践(1)	5F 小会議室 1
		課題研究 5	高等教育の改革と評価	4F 研修室 1
		課題研究 7-1	ICT と特別支援教育(1)	4F 研修室 2
12:00~13:00	昼食・休憩（理事会・評議員会）			5F 小会議室 2
13:15~13:45	総会・学会賞表彰式			2F ホール
14:00~15:15	基調講演 「教育の原点に光を当てる～乱流の中の本流を見出す～」 講師 早川信夫 氏（NHK解説主幹）			2F ホール
15:30~16:30	特別講演 「戦場カメラマンの教育論」 講師 宮嶋茂樹 氏（報道カメラマン・ジャーナリスト）			2F ホール
17:00~	懇親会 レストラン「ラ・ローゼ・プロヴァンス」			1F レストラン

●8月22日(日) [第2日目] 岐阜女子大学サライトキャンパス文化情報研究センター

9:30	受付開始			4F エルベータホール
10:00~12:00	セクシ ョン 2	課題研究 1-2	デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題(2)	6F ホール 1
		課題研究 3-2	教育資料・実践(2)	6F 小会議室
		課題研究 4	教育と著作権	5F 第4教室 1
		課題研究 6	教師教育・教員研修	5F 第2教室
		課題研究 7-2	ICT と特別支援教育(2)	6F ホール 2
		一般研究 1	情報教育(1)	5F 第4教室 2
		一般研究 2	教材開発	5F 第1教室
		特別研究 A	デジタル(電子)教科書の方向性と今後の課題(1)	4F 多目的室
12:00~13:00	昼食・休憩			
13:00~13:30	各研究会フリートーク			
13:30~16:00	セクシ ョン 3	一般研究 3	情報教育(2)	5F 第4教室 2
		一般研究 4	遠隔教育	5F 第2教室
		一般研究 5	新しい ICT 技術の活用	5F 第4教室 1
		一般研究 6	高等教育/生涯学習	6F ホール 2
		一般研究 7	デジタル・アーカイブ	6F ホール 1
		特別研究 B	デジタル(電子)教科書の方向性と今後の課題(2)	4F 多目的室

期 日：2010年8月21日(土)・22日(日)

会 場：◆第1日目(21日) じゅうろくプラザ

所在地 〒500 - 8856 岐阜市橋本町1丁目10番地11

交 通 JR 岐阜駅隣接 徒歩2分 <http://plaza-gifu.jp/>

◆第2日目(22日) 岐阜女子大学 サテライトキャンパス 文化情報研究センター

所在地 〒500 - 8813 岐阜市明德町10番地 杉山ビル 4F

交 通 JR 岐阜駅・名鉄岐阜駅 徒歩約20分、岐阜バス約10分

<http://www.gijodai.ac.jp/circ/>

年会テーマ

「教育の原点に光を当てる ～乱流の中の本流を見出す～」

共 催：岐阜女子大学 協 賛：学習システム研究会

後 援：岐阜県教育委員会・岐阜市教育委員会・山県市教育委員会

NPO 法人日本デジタル・アーキスト資格認定機構・NPO 法人日本アーカイブ協会

(財)総合初等教育研究所

—受付— 第1日目：じゅうろくプラザ 2F ホール前
第2日目：岐阜女子大学サテライトキャンパス
文化情報研究センター 4F エレベーターホール前

<両日とも9：30～>

年会受付は第1日目は“じゅうろくプラザ”2F ホール前、第2日目は、“岐阜女子大学サテライトキャンパス文化情報研究センター”4F エレベーターホール前にて行います。受付は「学会員（事前申込）」、「学会員（当日申込）」、「一般（事前申込）」、「一般（当日申込）」、「共催・協賛・後援関係」、「招待者」に分かれています。お間違のないようご注意ください。

なお、当日受付にて「学会申込」も行っています。

—昼食について—

第1日目のじゅうろくプラザはJR岐阜駅隣接の施設です。1F レストランや隣接する「シティータワー43」内には飲食店が多数ありますので、ご利用ください。

第2日目の岐阜女子大学サテライトキャンパス文化情報研究センターでの昼食は、第1日目においてお弁当の予約受付を致します。2F ホール前の受付にて行っておりますので、ご利用ください。

(文化情報研究センター近くは官庁街のため、日曜日に営業する飲食店が少なくなっております。)

基調講演

「教育の原点に光を当てる ～乱流の中の本流を見出す～」

講師 早川 信夫氏（NHK解説主幹）

特別講演

「戦場カメラマンの教育論」

講師 宮嶋 茂樹氏（報道カメラマン・ジャーナリスト）

特別研究

「デジタル（電子）教科書の方向性と今後の課題」

コーディネータ：村瀬康一郎（岐阜大学）、佐藤正明（岐阜女子大学）、藤澤政信（(財)総合初等教育研究所）

既存の教科書や資料をデジタル化すれば、それでデジタル（電子）教科書が実現するのではない。デジタル化された情報を縦横に使いこなし、新しい知的空間を創造するための知識やツールを提供するのがデジタル（電子）教科書である。今後の教科書におけるデジタル・アーカイブ化、デジタル（電子）教科書を利用するときの関連資料のデジタル化と収集・管理の方法、並びに、現在、教師用に提供されている教科書にかかわるデジタル資料の利用方法などについて、その方向性と今後の課題を考える。

課題研究

課題1 デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題

コーディネータ：井上 透（国立諫早青少年自然の家）、三宅茜巳（岐阜女子大学）

情報社会の進展に伴い、デジタル・アーカイブの対象は、文化財を中心とした時代から、個人や地域に関わる資料、行政や企業等の資料へと多様化の道を歩んできている。また、デジタル・アーカイブ化の手法も、テキスト・静止画・動画による資料の記録を中心とした時代から、CG・GPS・立体スキャナ・多方向同時撮影といった多様な手法が用いられるようになってきた。このようなデジタル・アーカイブの新しい展開の中、著作権やプライバシーに関する課題も顕在化しかつ多様化してきた。

ここでは、デジタル・アーカイブの開発・活用に関わる問題点や人材育成に関する課題を議論し、今後のデジタル・アーカイブの展開についての方向性を考える。

課題2 ICTを活用した教育支援環境

コーディネータ：加藤直樹（岐阜大学）、安達一寿（十文字学園女子大学）

教師一人一台のPC利用環境が急速に整備されつつある。これに伴い校務情報システムと呼ばれるシステムが活用されはじめている。このような教育支援環境は直近では効率化を具現化するものとして認識される面もあるが、経営情報としての教育改善や意思決定支援、改革支援等の長期的な観点から、優れた実践研究等を取り入れてビジョンを検討する必要がある。このためには、国内や海外の取り組みを知る必要がある。また、このような課題は初等中等教育のみならず高等教育等においても同様の課題認識があり、IR: Institutional Research への関心が急速に高まってきている。本課題研究では、このような課題背景にもとづき、情報システムの構築、活用による教育改善・改革、調査研究等の知見から今後の教育支援環境のビジョンを考える。

課題3 教育資料・実践

コーディネータ：林徳治（立命館大学），久世均（岐阜女子大学）

学校現場が抱える課題は、益々複雑化し混迷の度合いを増している。教育問題は今や、教育制度の範疇を超えて大きな社会問題として認識されるようになった。そこで、本課題研究では、教材開発、教材資料の活用上の問題点（例：著作権など含む）など学校教育を取り巻くさまざまな課題について検討すると共に、教師の自己研修と教科書の存在価値、授業研究の在り方について情報交換を行う。

課題4 教育と著作権

コーディネータ：坂井知志（常磐大学），藤川義人（弁護士法人淀屋橋・山上合同）
横山隆光（岐阜県池田中学校）

教育は多くの場合、他人の著作物を教材として利用する。そのことについて適法であるかどうかについて教職課程ではほとんど教えられてこなかった。そのため、様々な誤解や拡大解釈が教育現場に広がっている。一方、情報技術は飛躍的に変化しているため教科書と黒板という道具だけではない教育方法が広がっている。

本学会の著作権等研究会の活動状況を踏まえつつ、教育関係者が自ら守らなければならない基本的なガイドラインや著作権等を意識した教育・研究活動について、法律の専門家や教育関係者で議論を深める。

課題5 高等教育の改革と評価

コーディネータ：沖裕貴（立命館大学），小川勤（山口大学）

本課題研究では、授業の改善と評価、FDの組織化とFDの効果検証、FDプログラムの開発と効果検証、カリキュラム・デザインとカリキュラム評価、学生調査とIR、アクティブ・ラーニングの開発と効果検証、SDプログラムの開発と効果検証、TADプログラムの開発と効果検証、大学教員の職能開発と評価、教員評価などに関して研究、実践報告を集約するとともに、今日の大学に求められる改革・改善の方向性とその妥当性を検証する。

課題6 教師教育・教員研修

コーディネータ：服部晃（岐阜女子大学），平田誠（岐阜県教育委員会）

学校教育の成果は、究極のところ児童・生徒・学生の教育に直接携わる教員の資質能力に負うところが大きい。教師教育及び教員研修に一貫する教員の資質能力の形成過程には、①教員養成段階、②教員採用段階、そして③教員研修段階がある。近年の我が国の教師教育・教員研修に関する施策や課題等について、教員養成・教員採用・教員研修の各段階に関わる様々な立場からの教育実践・調査研究により、情報交流及び研究協議を行う。

課題7 ICTと特別支援教育

コーディネータ：太田容次（滋賀大学教育学部附属特別支援学校）
高市幸造（愛媛大学教育学部附属特別支援学校）

障害のある幼児児童生徒をめぐる動向として、障害の重度・重複化や多様化、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）等の幼児児童生徒への対応や、早期からの教育的対応に関する要望の高まり、卒業後の進路の多様化、ノーマライゼーションの理念の浸透などが見られるところである。こうした動向をふまえ、特別な教育的ニーズのある子どもへの情報教育の充実、コンピュータ等の教材・教具の活用や、教員や学校のICT化を進めるため等の教育情報について情報交換する。

一般研究

一般研究では、「情報教育（1）（2）」、「教材開発」、「遠隔教育」、「新しいICT技術の活用」、「高等教育/生涯学習」、「デジタル・アーカイブ」の7つのセッションを設定し、研究発表ならびに情報交換を行う。

発表一覧（日程順）

（課題研究1-1） デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題（1）

21日（土） 10:00～12:00

コーディネータ:井上 透（国立諫早青少年自然の家）、三宅茜巳（岐阜女子大学）

- 1 K 1 「三枝デジタル博物館」の作成 ～郷土を愛する子を育てるために～
福田正晴（高山市立三枝小学校）、瀬ノ上裕、荒川哲朗（高山市立山王小学校）、
上出巳吉、森建次（高山市立三枝小学校）、幅岳志（高山市三枝校区社教）
- 1 K 2 デジタル・アーキビスト教育プログラムの社会的ニーズについて
三宅茜巳、佐藤正明、久世均、橋詰恵雄、谷里佐、林知代（岐阜女子大学）
- 1 K 3 教員個々のナレッジデータベースを活用するためのデジタルアーカイブシステムの構築方法の研究
高原尚志、木佐木哲朗、堀江薫、後藤岩奈（新潟県立大学）
- 1 K 4 知的創造サイクルを加速するエージェント構想
中島修（IMACO 株式会社）
- 1 K 5 科学系博物館における資料の周辺情報のデジタル・アーカイブ化に関する実践的研究
有田寛之、山田格、田島木綿子、石井雅之（国立科学博物館）、
伊藤英明、山田博之（株式会社ロゴスウェア）
- 1 K 6 科学系博物館におけるデジタル・アーカイブの現状と課題
井上透（国立諫早青少年自然の家）
- 1 K 7 日本博物館協会におけるデジタルアーカイブの取組みと課題
橋本あゆみ（(財) 日本博物館協会）、井上透（国立諫早青少年自然の家）

（課題研究2） ICTを活用した教育支援環境

21日（土） 10:00～12:00

コーディネータ:加藤直樹（岐阜大学）、安達一寿（十文字学園女子大学）

- 2 K 1 大学評価の報告書作成支援システムと大学情報のデータウェアハウスについて
森雅生、田中要江（九州大学）、廣川佐千男（九州大学情報基盤研究開発センター）
- 2 K 2 教員の立場から見た「校務情報システム」の利点と課題
坂井岳志（世田谷区立八幡小学校）
- 2 K 3 LMS「MOMOTARO」の移植性向上のための考慮
井上紀明、大西荘一、井上善勝、井川真弓、三木啓一郎（岡山理科大学）
- 2 K 4 大学研究室におけるプログラム共同開発の効果的な管理
井上善勝、大西荘一、井上紀明、井川真弓、三木啓一郎（岡山理科大学）
- 2 K 5 学校改善を支援する教育情報システムの検討
－韓国 NEIS と国内先進地域の調査結果をふまえた提言－
加藤直樹（岐阜大学総合情報メディアセンター）、前田光男（練馬区立谷原中学校）
上市善章（市川市南行徳中学校）、村松祐子（富士通株）、森本泰弘（(社) 日本教育工学振興会）

- 2 K 6 韓国における全国教育行政情報システムの調査
前田光男（練馬区立谷原中学校），加藤直樹（岐阜大学総合情報メディアセンター）
上市善章（市川市南行徳中学校），村松祐子（富士通株），森本泰弘（（社）日本教育工学振興会）
- 2 K 7 学校運営及び教育改善のための校務情報化の導入普及方法について
—先進5地方自治体における校務情報化調査—
上市善章（市川市南行徳中学校），赤堀侃司（白鳳大学）
加藤直樹（岐阜大学総合情報メディアセンター），宮寺庸造（東京学芸大学），
井上久祥（上越教育大学大学院），前田光男（練馬区立谷原中学校）村松祐子（富士通株）

（課題研究3-1）教育資料・実践(1)

21日(土) 10:00~12:00

コーディネータ:林徳治（立命館大学），久世均（岐阜女子大学）

- 3 K 1 授業分析におけるデジタル・アーカイブ手法の開発【I】
～授業分析に必要な教育資料の構成と総合化～
久世均，齋藤陽子，長慶寺香，阿部彩野，松井久美子，二ノ宮のり，水端めぐみ(岐阜女子大学)
- 3 K 2 中国貴州省（貴陽市）における生徒参画型授業モデルの検証
北村光一（滋賀県立瀬田高等学校），林徳治（立命館大学）
- 3 K 3 多視点映像教材の流通と授業への活用【I】
～多機能メディア端末における教材流通と授業への展開～
松本香奈，久世均，齋藤陽子，長慶寺香，阿部彩野，松井久美子，二ノ宮のり，
水端めぐみ(岐阜女子大学)
- 3 K 4 能動的コンテンツと受動的コンテンツの教育効果の比較
山下裕司（山口県立岩国高等学校），久世均（岐阜女子大学）
- 3 K 5 わが国と諸外国における授業のビデオ分析と教師教育への活用効果に関する研究【I】
～英国の授業デザイン分析手法の開発～
齋藤陽子，久世均，長慶寺香，阿部彩野，松井久美子，二ノ宮のり，水端めぐみ(岐阜女子大学)
- 3 K 6 美術科教育における授業資料活用の現状と課題 (1) —教育現場（中学校）の視点から—
谷口由美子，横田学（京都市立芸術大学）
- 3 K 7 美術科教育における授業資料活用の現状と課題 (2) —教員養成の視点から—
横田学，谷口由美子（京都市立芸術大学）

（課題研究5）高等教育の改革と評価

21日(土) 10:00~12:00

コーディネータ:沖裕貴（立命館大学），小川勤（山口大学）

- 5 K 1 学士課程教育の質保証のための組織的なカリキュラム改善への取組
—「教育改善FD研修会」を通じたカリキュラム改善の試み—
小川勤（山口大学大学教育センター）
- 5 K 2 3つのポリシーの明確化の方策 —各大学の取組から—
沖裕貴，宮浦崇（立命館大学）

- 5 K 3 理工系研究者の特許情報利用に関する研究とシステム開発
木村友久 (山口大学)
- 5 K 4 教育改革総合指標・行動計画にもとづくマネジメントシステムの構築
ー立命館大学における次期システム構築に向けた取り組みー
宮浦崇, 沖裕貴 (立命館大学)
- 5 K 5 実践的FDプログラムの開発
ー新任教員対象実践的FDプログラムモデルの展開と評価ー
井上史子, 沖裕貴, 安岡高志, 林徳治, 江原武一 (立命館大学)
- 5 K 6 外国人留学生キャリア形成特別プログラムの中間報告
浅野昭人 (立命館大学キャリアセンター)
- 5 K 7 アクティブ・ラーニングとケータイを活用した学習支援システムの紹介
山本恒 (ICT 活用教育研究所)

(課題研究7ー1) ICTと特別支援教育(1)

21日(土) 10:00~12:00

コーディネータ: 太田容次 (滋賀大学教育学部附属特別支援学校), 高市幸造 (愛媛大学教育学部附属特別支援学校)

- 7 K 1 特別支援教育のよさの高まりが創る地域支援システムの開発
ータイムリーに支援が受けられる地域をめざすTV電話教育相談ー
中島英雄, 山口正弘(各務原市立那加第三小学校), 齋藤陽子, 久世均 (岐阜女子大学)
- 7 K 2 小学校特別支援教室におけるモバイル機器を利用した漢字学習支援の効果
北澤武, 永井正洋 (首都大学東京大学教育センター)
- 7 K 3 大学附属特別支援学校におけるネットワークを活用した教育学部学生支援への取組Ⅱ
高市幸造 (愛媛大学教育学部附属特別支援学校)
- 7 K 4 発達障害者の ICT 活用と情報モラル教育
江田裕介 (和歌山大学)
- 7 K 5 特別支援教育における遠隔共同学習の実際とこれから
ーチャレンジキッスにおけるゴーヤー栽培プロジェクトを通してー
島田勝浩 (石川県立明和特別支援学校) 和田博 (沖縄県立森川特別支援学校), 呉屋光弘 (沖縄県立太平特別支援学校), 太田容次, 石部和人 (滋賀大学教育学部特別支援学校), 高市幸造 (愛媛大学教育学部特別支援学校), 藤田美佐緒, 中野美佳 (香川県立香川丸亀養護学校), 亀井学 (秋田県立大曲養護学校), 小塚雄一郎, 大島麻美 (石川県立七尾特別支援学校), 荒井浩之 (山形県立山形養護学校), 河野文子 (筑波大学附属桐ヶ丘特別支援学校), 金森克浩 (独立行政法人国立特別支援教育研究所), 丹羽登 (文部科学省)
- 7 K 6 知的障害児の表情シンボル理解促進過程におけるコンピュータ利用の効果
佐原恒一郎 (千葉県立つくし特別支援学校), 梅谷忠勇 (明星大学)

- 1 K 8 絵馬調査に関するデータベース項目の構築
佐々木祐輔, 久世均 (岐阜女子大学)
- 1 K 9 民具資料のデジタル・アーカイブ化 第3報 -アイヌ文様におけるパターン抽出-
皆川雅章, 鶴丸俊明, 臼杵勲 (札幌学院大学)
- 1 K10 発掘調査の調査結果のデジタル・アーカイブ化 -織田信長公居館跡発掘調査を例として-
林知代 (岐阜女子大学), 高橋方紀, 井川祥子 (岐阜市教育委員会)
成瀬葵, 河本浩子 (岐阜女子大学)
- 1 K11 高大連携による準デジタル・アーキビストの養成
橋詰恵雄, 三宅茜巳, 久世均, 佐藤正明, 谷里佐, 林知代 (岐阜女子大学)
- 1 K12 上級デジタル・アーキビスト養成プログラムについて
谷里佐, 佐藤正明, 後藤忠彦 (岐阜女子大学)
- 1 K13 大垣市古写真のデジタル・アーカイブ化と iPhone を活用したフィールド・ワークでの教育実践
竹中初男 (岐阜県立大垣工業高等学校)
- 1 K14 国会図書館の資料デジタル化とそのコンテンツの教育への応用可能性
山口学 (国立国会図書館)

(課題研究3-2) 教育資料・実践(2)

22日(日) 10:00~12:00

コーディネータ:林徳治 (立命館大学), 久世均 (岐阜女子大学)

- 3 K 8 エッジ画像における奥行き知覚を利用した教育への一提案
吉井直子, 城和貴, 高田雅美 (奈良女子大学大学院)
- 3 K 9 RFID レスポンスカードを活用し, 生徒の思考を深める討論学習の工夫
-中学校社会科(歴史的分野)における授業実践とその考察-
奥村信夫 (守山市立守山中学校), 宮田仁 (滋賀大学)
- 3 K10 大学生を対象とした情報モラル教育の実践
林泰子 (滋賀短期大学), 林徳治 (立命館大学)
- 3 K11 大学授業におけるアクティブ・ラーニングの教育実践 (1)
-初年次教育「アスリートのためのアカデミックスキル」を対象として-
藤本光司 (宝塚市立長尾中学校), 林徳治 (立命館大学)
- 3 K12 大学授業におけるアクティブ・ラーニングの教育実践 (2)
-共通教育科目「教養ゼミナール」を対象として-
林徳治 (立命館大学)
- 3 K13 大学授業におけるアクティブ・ラーニングの教育実践 (3)
-教職専門科目「情報科教育概論」を対象として-
黒川マキ (大阪学院大学), 林徳治 (立命館大学)

- 3 K14 大学授業におけるアクティブ・ラーニングの教育実践（4） —大学教員を対象としたFD研修—
林徳治（立命館大学）

（課題研究4）教育と著作権

22日（日）10:00～12:00

コーディネータ：坂井知志（常磐大学），藤川義人（弁護士法人淀屋橋・山上合同），横山隆光（岐阜県池田中学校）

- 4 K 1 青少年教育における著作権法上の留意点
中川信治（中川特許商標事務所），藤川義人（弁護士法人淀屋橋・山上合同），坂井知志（常磐大学）
- 4 K 2 教育現場での著作権の扱いについて
藤川義人（弁護士法人淀屋橋・山上合同），中川信治（中川特許商標事務所），坂井知志（常磐大学）
- 4 K 3 小中高等学校における大学教員による情報モラル講演の問題点と課題
神月紀輔（京都ノートルダム女子大学）
- 4 K 4 小中学校教育における著作権の現状と課題 —著作権法第35条ガイドライン等の認知度から—
横山隆光，和田慎也，竹中正仁，大久保佳郎（池田町立池田中学校）
- 4 K 5 デジタル・アーカイブ構築過程における著作権処理の課題
坂井知志（常磐大学）
- 4 K 6 常磐大学における著作権に関する啓蒙活動について
工藤典人（常磐大学）

（課題研究6）教師教育・教員研修

22日（日）10:00～12:00

コーディネータ：服部晃（岐阜女子大学），平田誠（岐阜県教育委員会）

- 6 K 1 アクティビティ・プログラミング（AP）開発によるロジックツリー学習モデルの構築と実践
武田正則（山形県立東根工業高等学校）
- 6 K 2 教員の研修体系に関する研究課題
服部晃（岐阜女子大学）
- 6 K 3 子どもが育ち，教師が育つ学校運営
森瀬一幸，服部晃（岐阜女子大学）
- 6 K 4 岐阜県総合教育センターにおける教員研修の現状と課題
平田誠，水野秀則（岐阜県教育委員会），服部晃（岐阜女子大学）
- 6 K 5 学校経営における情報マネジメントとリザルトチェーン等による分析
村松祐子（富士通株），加藤直樹（岐阜大学総合情報メディアセンター），井上志朗
- 6 K 6 中学校数学科教師の指導観と教職経験との関連性
日比光治（岐阜県教育委員会），加藤直樹（岐阜大学総合情報メディアセンター）

- 7 K 7 携帯電話Web サイトによる知的障害のある生徒の移行支援の効果
ーテキストマイニング手法による発話データの分析ー
大杉成喜, 石部和人, 木村政秀, 三川鋼一(滋賀大学教育学部附属特別支援学校)
宮田仁(滋賀大学)
- 7 K 8 特別支援教育の充実のための情報普及に関する実際研究(3)
ー発達障害教育情報センターの取り組みからー
太田容次(滋賀大学教育学部附属特別支援学校)
梅田真理, 伊藤由美(国立特別支援教育総合研究所)
- 7 K 9 知的障害のある子どもへの情報機器を用いた指導に関する研究
川村弘之(大阪府立高槻支援学校)
- 7 K 10 音声発話のない自閉症児への五十音キーボード式コミュニケーションエイドのフィッティングと
コミュニケーション指導
荊田知則(愛媛大学), 脇谷咲(愛媛県立新居浜南高等学校)
- 7 K 11 Netcommons を用いたデータベースサーバの構築
小寺誠(岐阜県立大垣特別支援学校), 松原正也(岐阜大学総合情報メディアセンター)

- 1 I 1 タイピング速度向上の統計的検証
奥田由紀恵, 細川光浩, 福井正康(福山平成大学)
- 1 I 2 携帯メールに対する学生の意識調査 ーコミュニケーションツールからビジネスツールへー
片山章郎(吉備国際大学)
- 1 I 3 データロギング機能を活用した計測・制御に関する指導の在り方
金塚茉莉子, 山本利一(埼玉大学), 本村猛能(川村学園女子大学), 竹内和也(埼玉大学)
小林靖英(株式会社アフレル)
- 1 I 4 日本語ワープロの教育環境についての考察 ーWord と一太郎の比較を中心としてー
矢野口聡, 松原健二(松本大学松商短期大学部)
- 1 I 5 紙と鉛筆から始める情報学教育カリキュラムの構築と実践
ー言葉と体験, 習得と探究をつなぐ「活用する力」を高めるためにー
河野卓也, 澤田和彦, 安谷元伸(滋賀大学教育学部附属中学校)
- 1 I 6 我が国の体系的情報教育の在り方とカリキュラムの方向性 ー日本・韓国・中国の学習内容比較検討ー
本村猛能(川村学園女子大学), 山本利一(埼玉大学), 工藤雄司(筑波大学附属坂戸高等学校),
角和博(佐賀大学), 森山潤(兵庫教育大学大学院)

- 2 I 1 スパイク動作を対象とした技能情報の測定と学習利用について
岡村吉永, 森岡弘 (山口大学), 船内朋子(京都市立松原中学校)
- 2 I 2 Web ページ制作を題材とした情報伝達の在り方に関する提案
伊藤大河 (ジェイアール東海情報システム株), 山本利一 (埼玉大学)
- 2 I 3 中国人を対象とした動画付きの礼儀正しい日本語会話 Web 教材の開発
仲禹潼, 宮田仁 (滋賀大学)
- 2 I 4 英文リーダービリティソフトウェア CheckRead Light の開発
福井正康, 細川光浩, 小篠敏明 (福山平成大学)
- 2 I 5 College Analysis におけるグラフィックエディタの開発
石丸敬二 (福山大学), 尾崎誠, 福井正康 (福山平成大学)
- 2 I 6 小学校「理科」におけるデジタル・コンテンツ利用の一考察
八木浩雄, 笹川啓一 (明星大学), 角田純哉 (相模原市立桂北小学校), 桑原和也 (明星大学)
- 2 I 7 生徒の自律協調を目標としたチーム学習の高等学校での実践 (その2)
松本宗久 (大阪学院大学高等学校)
- 2 I 8 環境意識の涵養を促すものづくり教材の開発
安藤久夫 (岐阜女子大学), 及川浩和 (中日本自動車短期大学), 吉田昌春 (岐阜大学)
村瀬一之 (岐阜県立岐南工業高等学校), 手島知里, 佐藤菜摘, 深見祐子
河嶋湖由希 (岐阜女子大学)

(特別研究A) デジタル(電子)教科書の方向性と今後の課題 (1)

22日(日) 10:00~12:00

コーディネータ:村瀬康一郎(岐阜大学), 佐藤正明(岐阜女子大学), 藤澤政信((財)総合初等教育研究所)

- 1 T 1 観光情報教育の電子教科書作成のための映像資料の構成について
大木佐智子, 宮里顕光, 浅野弘光, 辻公子, 吉水淑雄, 楓森博 (岐阜女子大学)
- 1 T 2 歴史的建造物 (藤原京) のCG と遺跡の電子教科書用の教材化への方向づけ
井上雄治, 佐藤正明, 谷里佐 (岐阜女子大学)
- 1 T 3 デジタル・アーカイブの電子教科書での操作的活用の基礎研究
～伝統文化活動を通しての文化の継承～
宋晨怡 (岐阜女子大学), 長尾順子 (沖縄教育庁), 佐藤正明, 三宅茜巳, 谷里佐, 橋詰恵雄,
後藤忠彦 (岐阜女子大学)
- 1 T 4 学習の傾向 (授業の前後の誤答分析) から見た電子教科書のカリキュラムと教材
～学習傾向のデータを参考にして～
前田伸, 佐藤正明 (岐阜女子大学)
- 1 T 5 多視点映像記録を用いた電子教科書の教材開発の研究 ～高等学校教育教材の用筆法について～
中根海童 (岐阜女子大学)

- 1 T 6 電子教科書の教材開発の研究 ～白鳥拝殿踊りを事例とする地域伝統文化の教材化～
藤代めぐみ (岐阜市立茜部西小学校), 安井智恵 (岐阜女子大学)
- 1 T 7 電子教科書教材の利用者への情報提供 (1)
～教師や保護者にどのような教材の学習特性の情報を公開すべきか～
新垣英司 (沖縄教育庁), 後藤忠彦, 宮城倫, 仲本實 (岐阜女子大学)
- 1 T 8 奈良時代の宇佐と手向山八幡宮の関係をj知る素材としての伝統文化データベースの研究
～電子教科書の教材としての利用を目的として～
加藤真由美, 谷里佐, 三宅茜巳, 佐藤正明, 齋藤陽子 (岐阜女子大学)
- 1 T 9 電子教科書の教材としてエイサー・袋中上人の関連地域資料の構成
～沖縄・いわき市・京都の素材について～
長尾順子, 新垣英司 (沖縄教育庁), 三宅茜巳, 齋藤陽子, 辻公子, 大木佐智子 (岐阜女子大学)

総 合 討 論

(一般研究3) 情報教育(2)

22日(日) 13:30～16:00

座長:本郷健(大妻女子大学), 加藤尚吾(東京女子大学)

- 3 I 1 高校生のコミュニケーション系サイトに関する調査研究 ーリアルの利用実態についてー
相澤崇 (弘前市立第一中学校)
- 3 I 2 学生のメール使用とセキュリティ意識について
阿久津毅 (昭和学院短期大学)
- 3 I 3 携帯メールメッセージの内容分析 ー感情伝達と性差による検討ー
加藤尚吾 (東京女子大学), 加藤由樹 (東京福祉大学),
スコット ダグラス (早稲田大学人間科学学術院)
- 3 I 4 情報教育における科学的理解の構築法 ー論理回路教材の実践よりー
工藤雄司 (筑波大学附属坂戸高等学校), 本村猛能 (川村学園女子大学)
- 3 I 5 メディアリテラシー教育の原点はコミュニケーション能力の育成
後藤心平 (東北大学大学院)
- 3 I 6 情報の分散处理的な見方・考え方を育成する教材提供サイトの構築
本郷健 (大妻女子大学), 齋藤実(埼玉県立大宮高等学校), 須藤崇夫・堀口真史 (埼玉県立総合教育センター), 佐野和夫 (横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校), 横田一弘 (埼玉県立新座総合技術高等学校)
- 3 I 7 理系コース女子高校生の意識・態度の分析と情報教育カリキュラムの検討
中尾茂子, 安達一寿, 橋本ヒロ子(十文字学園女子大学)

- 4 I 1 中国人留学生を対象とした e ラーニングを活用した日本語教育に関する学習評価(2)
ー誤用の化石化に着目してー
及川浩和(中日本自動車短期大学), 加藤直樹(岐阜大学総合情報メディアセンター)
- 4 I 2 字幕データ付き VOD 講義の単語頻度に対する混合正規分布モデルによる映像区間の推定
小林伸行(山陽学園大学), 椎名広光, 北川文夫(岡山理科大学)
- 4 I 3 地研究開発ネットワークを活用した遠隔地間合唱の実験
和田武(愛媛大学総合情報メディアセンター), 田邊隆, 井上洋一(愛媛大学),
永井明, 三原義樹(宇都宮大学)
- 4 I 4 「情報リテラシー教材」利用における LMS の活用について
白川雄三(大阪学院大学), 中畠康二(大阪学院大学 IT センター)
- 4 I 5 沖縄女子短期大学と岐阜女子大学における遠隔教育の実践について
橋詰恵雄, 久世均, 佐藤正明, 後田紀子, 後藤忠彦(岐阜女子大学)

- 5 I 1 教科「情報」の授業におけるムードル活用効果に関する研究
高納成幸(岐阜県立大垣北高等学校), 加藤直樹(岐阜大学総合情報メディアセンター)
- 5 I 2 子どものやる気を引き出し, 確かな学力を付ける指導の在り方 ~電子黒板の活用を通して~
小井戸政宏, 長屋メイ子, 久野秀美, 長尾弥生, 田村健, 波多野あゆ美(関市立武儀西小学校)
- 5 I 3 ipod touch ゲームで学ぶ情報モラル
加納寛子(山形大学)
- 5 I 4 電子黒板等 ICT 機器を効果的に活用する指導計画の作成
ー中学校理科および数学の目標の達成に向けてー
横山隆光, 笠原康弘, 加納由佳里, 長井円覚(池田中学校)
- 5 I 5 PSP(携帯ゲーム機)を利用した大型テレビでの教材提示
坂井岳志(世田谷区立八幡小学校), 鳥羽純(世田谷区立武蔵丘小学校)
- 5 I 6 小中高12年間の系統性のある電子黒板対応型数楽 Web 教材「MathWeb」の開発と活用の在り方
~中学校3年「関数」「相似と比」の単元での能動的な交流を中心として~
安藤忠展(関市立旭ヶ丘中学校), 遠藤和弘(関市立桜ヶ丘中学校)

- 6 I 1 管理職を対象としたICT活用研修プログラムとその評価
南部昌敏(上越教育大学大学院), 矢沢欣也(柏崎市教育センター), 飯田秀男(荒川区教育委員会)
山西潤一(富山大学), 永野和男(聖心女子大学), 木原俊行(大阪教育大学), 堀田龍也(玉川大学)
野中陽一(横浜国立大学), 黒田 卓(富山大学)
- 6 I 2 教養試験対策用のテスト中心の授業
竹内俊彦(東京福祉大学)
- 6 I 3 他者支援を意識した学習活動の改善と教育効果
成瀬喜則, 長山昌子(富山高等専門学校), 宮地功(岡山理科大学)
- 6 I 4 地域社会における「コミュニケーション能力の向上」の取組み
林泰子(滋賀短期大学), 川野智(宇治市立大久保小学校), 林徳治(立命館大学)
- 6 I 5 理科教室でのOSSによるEUDの試行
中澤茂忠(長野市立昭和小学校)
- 6 I 6 東京都内私立高校の分析
小野裕次郎(十文字学園女子大学), 名児耶厚(東京電機大学)
- 6 I 7 教育研究活動情報システム(ARIS-Gifu)の活用状況及び課題
興戸律子, 村瀬康一郎(岐阜大学総合情報メディアセンター)
- 6 I 8 大学教員の職能開発の検討 -オランダにおけるシニア教員を対象とした職能開発を参考として-
井上史子, 沖裕貴, 安岡高志, 林徳治, 江原武一(立命館大学)

- 7 I 1 地域住民による総合的なデジタル・アーカイブ素材の収集
諸角るり子, 諸角幸憲(岐阜女子大学)
- 7 I 2 長良川中流域の歴史・文化活動の記録
諸角幸憲, 諸角るり子(岐阜女子大学)
- 7 I 3 伝統芸能(山車, からくり)のデジタル・アーカイブ化とその活用とネットワークづくり
竹中洵治(岐阜第一高等学校), 竹中初男(岐阜県立大垣工業高等学校)
- 7 I 4 デジタル・アーカイブを用いた〇黙印がある金華山焼と御三卿田安家の研究
粥川恵子(岐阜女子大学)
- 7 I 5 「鍛金作家のオーラルヒストリー」教育コンテンツの制作について
林成子(岐阜女子大学)
- 7 I 6 地域の文化財・文化活動, 自然のデジタル・アーカイブ化とその利用の課題
~必要な情報の抽出と課題解決への利用~
成瀬育美(ナカシャクリエイテブ株式会社), 後藤忠彦, 三宅茜巳, 谷里佐(岐阜女子大学)
- 7 I 7 教材写真データベースの制作と運用
木下昭一(聖徳大学)

- 2 T 1 多視点映像記録を用いた電子教科書の教材開発の研究 ~小学校教育教材の構成について~
松本香奈, 久世均 (岐阜女子大学)
- 2 T 2 立体スキャナを用いた電子教科書教材の開発の課題
~ヒトツバ等の地域の理解・社会など多様な資料の利用~
波多野敏江, 佐藤正明, 前田伸 (岐阜女子大学)
- 2 T 3 立体スキャナを用いた地域素材の電子教材化について
稲福純夫, 玉城哲人 (沖縄女子短期大学)
- 2 T 4 電子教科書に対応した地域素材の教材化
~デジタル・アーカイブ手法による社会科地域素材の総合化~
齋藤陽子 (岐阜女子大学)
- 2 T 5 英語教育を対象とした電子教科書の教材開発研究
三宅茜巳 (岐阜女子大学)
- 2 T 6 岐阜女子大学のデジタル (電子) 教科書関連の教育の現状
林知代 (岐阜女子大学)
- 2 T 7 岐阜女子大学大学院文化創造学研究科のデジタル (電子) 教科書関係のカリキュラムについて
谷里佐, 佐藤正明, 後藤忠彦, 三宅茜巳, 久世均 (岐阜女子大学)
- 2 T 8 電子教科書を用いた学習の行動分析, イメージ, 学習の変化等の評価方法の研究 (1)
東海幸恵, 後藤忠彦, 田場大輔, 照屋小百合, 眞喜志悦子 (岐阜女子大学),
稲福純夫, 玉城哲人 (沖縄女子短期大学), 佐藤正明 (岐阜女子大学)
- 2 T 9 電子教科書教材の評価のための時系列サンプリング分析方法の試行研究 (1)
~学習活動プロセス分析に適する行動カテゴリー課題~
佐藤正明, 東海幸恵 (岐阜女子大学), 玉城哲人, 稲福純夫 (沖縄女子短期大学),
新垣さき, 新垣由希乃, 新城愛, 上原奈美, 大城しずか, 久世均 (岐阜女子大学)
- 2 T 10 電子教科書の製作会社の機能の検討
久世均 (岐阜女子大学)
- 2 T 11 4Kプロジェクターを活かした博物館・美術館の電子教科書の取り組み
坂井知志, 塩雅之, 町英朋 (常磐大学)

総 合 討 論

コーディネータおよび座長の方へ

- ・発表開始時刻の10分前までに会場にお入りください。セッションの開始・終了の合図はありません。時間になったら、適宜、各会場で進行してください。
- ・会場内に時計と鈴が準備してありますので、コーディネータおよび座長の方で発表開始・終了の合図をお願いします。
- ・各教室近くの廊下に連絡係の学生がいます。わからないことやご希望などは手伝いの学生か、年会スタッフにご連絡ください。手伝いの学生や年会スタッフは「年会スタッフ」と書かれた名札をつけています。

発表者の方へ

<当日の発表に関して>

- ・発表時間の目安は下記の通りです。時間厳守でお願いいたします。

一般研究発表 15分（発表12分、質疑2分、交代準備1分）

課題研究発表 20分（発表15分、質疑4分、交代準備1分）

特別研究発表 10分（発表10分、交代準備1分） 総合討論 30分

- ・発表者の方は、遅くとも開始5分前には会場にお越しくださるようお願いいたします。
- ・発表教室にいられましたら、コーディネータまたは座長にご連絡ください。そのセッションのコーディネータおよび座長は「コーディネータ」「座長」という名札をつけていただいています。
- ・進行はコーディネータ、座長に一任しております。スムーズな進行にご協力ください。
- ・会場により、時間と発表者数の関係で時間的余裕のある会場と、時間がタイトな会場があります。コーディネータ・座長の指示に従い時間厳守でお願いします。
- ・全ての会場にはプロジェクトが用意されています。交代準備の時間に各自のパソコンを接続してください。前の発表者と次の発表者との連携が上手く進むように、ご協力をお願いします。
- ・万一、発表者の変更もしくはキャンセルが生じた場合は、速やかに事務局にご連絡ください。
(当日の場合は、コーディネータ、座長または受付に申し出てください。)

<論文に関して>

- ・論文の執筆要項を第26回年会 Web サイト (<http://www.gijodai.ac.jp/nenkai26/>) からダウンロードして論文執筆に利用して下さい。
- ・論文の原稿枚数は一般研究については2頁（片面）とし、課題研究および特別研究については4頁（片面）とします。原稿はe-mailによる添付ファイル（デジタル原稿（pdf））として、件名に「一般研究原稿送付」「課題研究原稿送付」「特別研究原稿送付」と記載して、第26回年会論文受付メール (nenkai26@gijodai.ac.jp)、又は郵送（印刷した完全原稿とデジタル原稿（pdf））で年会事務局にお送り下さい。原稿は「年会論文集」の版下となります。

【論文提出締切 2010年7月16日（金）必着】

◇ 会場までの案内

①遠方から JR 岐阜駅までのアクセス

◆東京方面からお越しの場合

JR 東京駅（東海道新幹線約1時間40分）→JR 名古屋駅（JR 東海道本線新快速約18分）→JR 岐阜駅

◆大阪方面からお越しの場合

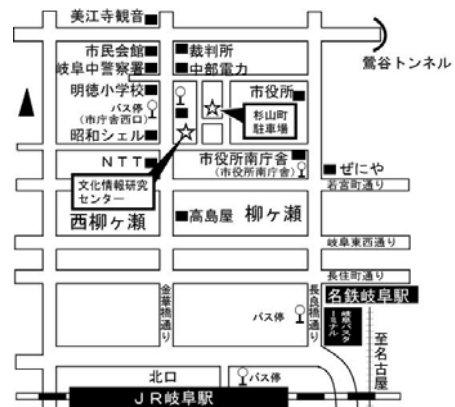
JR 新大阪駅（東海道新幹線約50分）→JR 名古屋駅（JR 東海道本線新快速約18分）→JR 岐阜駅

■お車でお越しの場合

岐阜各務原 I.C より 車約15分 / 岐阜羽島 I.C より 車約20分

②JR 岐阜駅・名鉄岐阜駅から各会場までのアクセス

	第1日目/21日(土)	第2日目/22日(日)
会 場	じゅろうくプラザ http://plaza-gifu.jp/	岐阜女子大学テイクアップ文化情報研究センター http://www.gijodai.ac.jp/circ/
JR 岐阜駅からのアクセス	●駅ビル隣接（西隣） 中央改札口（2階）「ベルマート（コンビニ）」横の出口より、デッキ「杜の架け橋 ^{※1} 」（屋外）を左方向に進むと会場入り口があります。	●金華橋通りを北へ約1.5km ※徒歩20分/岐阜バス10分 JR 岐阜駅バスターミナル「10番」から、 ①市内ループ線（右回り ^{※2} ）乗車→「市庁舎西口」下車→徒歩1分 ②市内ループ線（左回り ^{※3} ）乗車→「市役所南庁舎」下車→徒歩3分
名鉄岐阜駅からのアクセス	●JR 岐阜駅方向へ約300m ※徒歩5分 長良橋通りを南（JR 岐阜駅方向）に向かい、エスカレーターにて、デッキ「杜の架け橋 ^{※1} 」に上がると、駅ビルの西隣りが会場です。	●長良橋通りを北へ約1km ※徒歩15分/岐阜バス8分 ①名鉄岐阜のりば「4番」から、市内ループ線（左回り ^{※3} ）乗車→「市役所南庁舎」下車→徒歩3分
駐車場	有料駐車場 58 台収容。ただし一部の車種についてはスペースの関係上駐車できない場合があります。 ※周辺にも有料駐車場があります。	有料駐車場「杉山駐車場」が徒歩3分のところにあります。TEL：058-264-6133
備 考	※1 デッキ「杜の架け橋」を歩くと、会場の受付（2階）へ直接入れます。	※2・※3 ①②の「岐阜バス市内ループ線」は各20分間隔に出ています



***** 第26回年会のご案内 *****

参加申込方法

前回お送りした郵便振替用紙（払込取扱票）が申込書を兼ねます。必要事項を記入し、郵便局の窓口またはATM、APMで手続きください。同封の郵便振替用紙を紛失した場合、または追加用紙が必要な場合は、郵便局備付けの用紙をご利用ください。

なお、期日を過ぎた場合は、当日会場受付でお支払いください。その場合、参加費は当日扱いとなります。

【参加申込締切（郵便局窓口期限） 2010年 8月6日（金） 厳守】

郵便振替口座番号： 00890-9-206725

加入者名： 日本教育情報学会第26回年会

（※学会本部事務局の口座とは異なりますので、ご注意ください）

参加費

- ・会員事前申込締切日まで 参加費3,000円 論文集3,500円 懇親会費5,000円
 - ・会員（当日）・非会員 参加費4,000円 論文集3,500円 懇親会費5,000円
- ※論文集は、年会当日受付にてお渡しいたします

◎共催、協賛、後援関係の方

共催である岐阜女子大学、および後援・協賛いただいた岐阜県・岐阜市・山県市教育委員会に所属の教職員、学習システム研究会の関係者の参加は無料とします。（※論文集代、懇親会費は申し受けます）

当日、「共催・協賛・後援関係受付」にお越しください。

◎論文集の郵送申込について（年会に参加されない方）

年会に参加されないで論文集を購入希望の方は、参加申込書の該当欄にご記入の上、申込をしてください。年会終了後論文集を送付いたします。

- ・論文集 4,000円（郵送費、事務諸経費を含む）

宿泊について

- ・宿泊につきましては、各自で手配くださいますようお願いいたします。
- ・なお、宿泊及び交通機関に関しましては、次の旅行会社でも手配できます。

日本通運(株)岐阜旅行センター TEL058-253-2288 FAX058-253-2225
〒500-8680 岐阜市長住町10-1 日本通運株式会社岐阜支店1F
担当（田中・小林・掘）

※「ぎふ長良川鵜飼」のパンフレットを同封致しましたので、希望される方は各自ご予約下さい。

◆年会事務局（問合先）

日本教育情報学会第26回年会実行委員会

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル4F

岐阜女子大学文化情報研究センター内

E-mail: nenkai26@gjodai.ac.jp TEL:058-267-5233 Fax:058-267-5238